

ベトナムにおけるジカウイルス感染例（2例）の確認

1 ベトナム保健省は、4月5日、ベトナム国内でのジカウイルス感染例2例（いずれも南部）が確認されたとして、同省ウェブサイト上で次のとおり発表しました。

（1）第1例

感染者はカインホア省ニャチャン市フオックホア町居住の64歳女性。3月26日に微熱・頭痛・目の充血・脚部発疹の症状が現れた。解熱剤を服用したが、効果は見られず、カインホア省の熱帯病病院を受診し、3月31日にニャチャン市のパスツール研究所における血液検査の結果、ジカウイルス感染の陽性反応が確認された。さらに、4月4日、ホーチミン市のパスツール研究所での血液検査結果により、中央衛生疫学研究所はジカウイルス感染の陽性反応を確認した。

（2）第2例

感染者はホーチミン市第2区タインミロイ町居住の33歳女性。3月29日に目の充血・発疹・倦怠感の症状が現れ、同日、ホーチミン市第2区のポリー診療所を受診した。3月31日及び4月1日に行った血液検査の結果、ジカウイルス感染の陽性反応が確認され、さらに、4月4日のサンプル検査の結果により、中央衛生疫学研究所はジカウイルス感染の陽性反応を確認した。

2 ジカウイルス感染症は、昨年来、中南米地域を中心に急激に感染が拡大しています。ベトナムで毎年感染・発症例が多数報告されているデング熱と同様、ジカウイルスの媒体であるネッタイシマカ、ヒトスジシマカに刺されることにより感染し、発症した場合デング熱と同様に発熱・発疹・目の充血・頭痛・関節痛等の症状が現れます（症状は比較的軽いとされています。）。また、現時点で因果関係は立証されていませんが、ジカウイルスとギランバレー症候群との関連及び妊婦のジカウイルス感染による胎児への影響（小頭症）が指摘されており、特に、妊娠中の方は十分な注意が必要です。

3 つきましては、以下のウェブサイト等を御参照の上、今後も関連情報の収集・感染予防に努めるなど、十分ご留意ください。

○海外安全ホームページ（感染症危険情報）：

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pchazardspecificinfo.asp?infocode=2016T069#ad-image-0>

○厚生労働省HP（ジカウイルス感染症について）：

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

○WHO（世界保健機構）（英文）：<http://www.who.int/emergencies/zika-virus/situation-report/31-march-2016/en/>